

◆ 安全上のご注意

人への危害、財産などへの損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または、重傷に結びつく可能性があるもの。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

- ⊘ **禁止マーク** してはいけないことを示します。
- ⚠ **注意マーク** 注意することを示します。
- 👉 **指示マーク** 必ず行うことを示します。

警告

- ⊘ **禁止**
- ⊘ 絶対に改造はしないでください。
- ⊘ 濡れた手で機器を操作しないでください。
- ⊘ 機器運転中や電源「切」(OFF)直後は、機器表面が高温となりますので、絶対に触らないでください。また、子供が近くに近寄らないようにしてください。
- ⊘ 機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管しないでください。
- ⊘ 機器の上や、機器に直接衣類等を置いて乾かしたりしないでください。
- ⊘ 機器と壁の間や、機器の隣隔距離の範囲内に物品を挟んだり、置いたりしないでください。また、カーテン等の可燃物を近づけないでください。
- ⊘ 他の暖房機と隣接させないでください。

指示

- 👉 機器は、離隔距離を保ってご使用ください。
- 👉 暖房シーズン中に清掃をする場合は、必ずブレーカを「切」(OFF)にして、機器が冷えた状態で行ってください。
- 👉 機器に異常が発生した場合は、機器の電源をOFFにしてご購入元にご連絡ください。
- 👉 発熱したヒーターに直接手で触らないでください。また、長時間見つめないでください。
- 👉 人の動線に十分配慮し、安全な場所に設置してください。

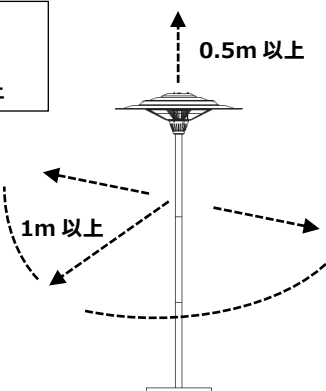
注意

- ⊘ **禁止**
- ⊘ 機器の上に乗ったり、荷重を掛けたり、物を乗せたりしないでください。
- ⚠ 機器は塩害には対応しておりません。海岸周辺でのご利用はお控えください。塩害による機能性能の劣化・損失は製品保証の範囲外となります。
- ⚠ ヒーターエレメント部はガラス管のため、衝撃を与えないようご注意ください。
- ⚠ 蒸気、湯気、熱気などが直接当たる場所への設置はお止めください。

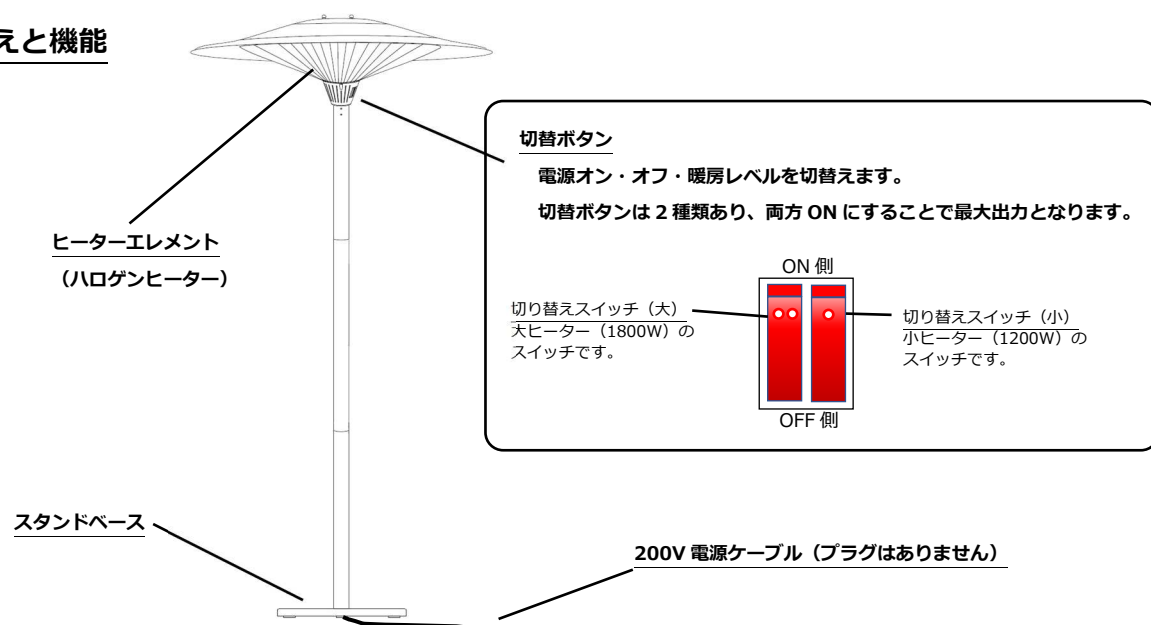
指示

- 👉 アースは第三種接地工事(D種接地)を行ってください。
- 👉 電圧は定格電圧の±10%以内であることを確認してください。

必要離隔：
・周囲：1m以上
・天面：0.5m以上

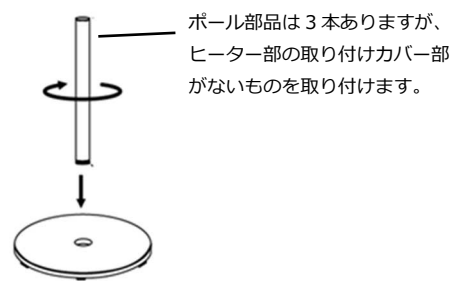


◆ 各部のなまえと機能

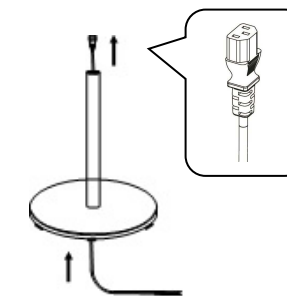


◆ 施工・組立手順

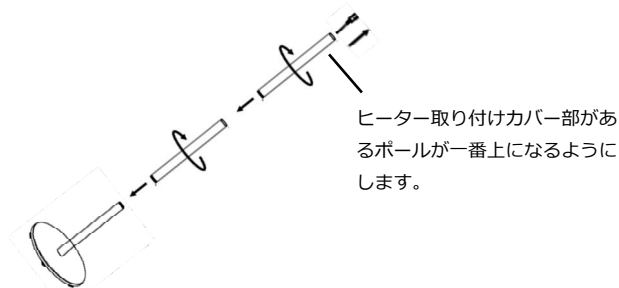
① : スタンドベースにポール部品を取り付けます



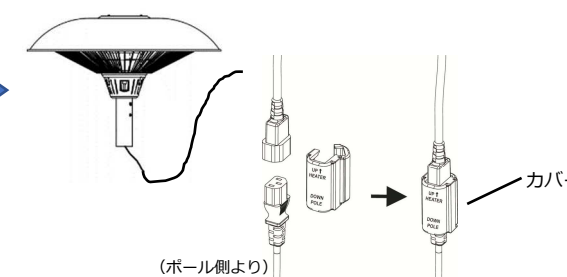
② : ポールに電源ケーブルを通します。



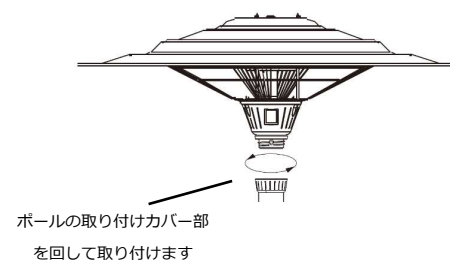
③ : 残り2本のポールを取り付けます 同時に電源ケーブルも通します



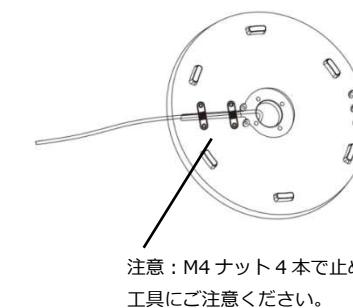
④ : ヒーター部のケーブルを接続します 接続後にカバーを取り付けます



⑤ : ヒーター部をポールに取り付けます



⑥ : スタンドベース裏でケーブルを固定します



⑦ : 電源ケーブルを接続します

- ・必ず、専用の漏電ブレーカを設置ください。
- ・本機器1台の定格は200V 15Aです。
- ・電源ケーブルにプラグ、端子などはありません。裸電線の状態となっています。
- ・特にレンタル等、シーズン終了後に撤収する場合は、適切な電源プラグなどを設け、着脱が簡易に行えるようにしてください。
- ・オプションを追加設置する場合は、オプション品の施工説明に従ってください。

⑧ : 試運転を行い、動作することを確認します

- ・次ページの「ご使用方法」を参照し、試運転を実施してください。

◆ ご使用方法

① 専用の電気ブレーカーが ON になっていることを確認します。

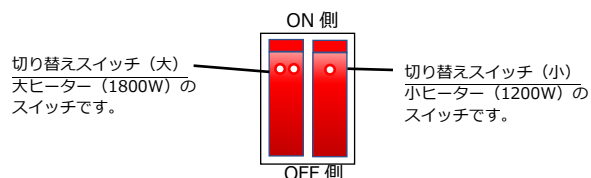
② ヒーター本体の切替ボタンを押し、暖房レベルを調節します。

切り替えスイッチ（小）のみ ON することで“弱”レベル。

切り替えスイッチ（大）のみ ON することで“中”レベル。

両方の切り替えスイッチを ON することで“強”レベルとなります。

ヒーターは、10 秒程度で立ち上がります。



③ オフする際は、切替ボタンを両方とも OFF 側にします。

◆ こんなときには

●ヒーターが ON にならない、放熱が弱い

- ・ブレーカーが OFF になっていないか確認してください。
- ・機器本体の切替ボタンで動作するか確認してください。
- ・放熱が弱い場合は、そのまましばらくお待ちになって確認してください。
- ・他の電源系統で動作するか確認してください。

●においが出る

- ・暖房器本体内やヒーターエレメントに付着している ほこりや異物が原因です。一度電源を切り、お手入れ方法に従ってほこりや異物などの汚れをふきとってください。

●ブレーカーが落ちる

- ・ブレーカーの容量を超えていると考えられます。 同じブレーカーに他の機器などが接続されていないか確認してください。

◆ 機器の仕様

ヒーター本体	型式	HEAT-M-302S
	本体色	シルバー
	電源	単相 200V 50/60Hz
	定格電流	15A
	消費電力	最大 3,000W、3 段階切替
	寸法	Φ740 x 2100mm
	筐体主要材質	ステンレス
	防水仕様	IPx5
	ヒーター種別	ハロゲンヒーター
	赤外線種別	近赤外線
安全装置	転倒時自動オフ機能 搭載	

(詳細な仕様は、当社ホームページを参照ください。)

Chrester

株式会社コンフォー

〒110-0005 東京都台東区 上野 3 丁目 13 番 1 号

URL : <https://k-comfort.co.jp/>

お問い合わせ用 URL : <https://k-comfort.co.jp/inquiry>

◆ 日常のお手入れ・長期間ご使用にならない場合

- ・通常は乾いた布などでお拭きいただき、汚れがひどい場合は、適量に薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。
- ・内側の反射板はブラシなどを使用して定期的に掃除してください。また、水洗いはしないでください。
- ・お手入れの際は、必ず電源を切り、機器の温度が十分に下がってから行ってください。
- ・長期間使用しない場合、専用ブレーカをオフして電源ケーブルを取り外し、室内などで保管ください。
- ・長期間未使用が続いた後で電源 ON すると、焦げたような臭いがする場合がありますが、異常ではありません。しばらくすると消えます。

◆ 修理および交換について

(1) 修理・交換を依頼される場合： 「こんなときには」をお読みください。不具合が解消されない場合、ご購入元にご連絡いただくか、当社の修理サービス (<https://k-comfort.co.jp/repair/>) までご連絡ください。

ご連絡の際には、機器の型式・お取付の年月日（保証書）・不具合の症状などをお知らせください。

(2) 補修用部品の保有期間について： 当社ホームページでご確認ください。補修用部品とは、機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について： お取り付け日から 1 年間です。「お取扱店・施工店」「お取り付け日」が記載された保証書が無く、お取り付け日の確認ができない場合は、無償保証の対象とはなりませんのでご注意ください。また、お客様が分解・改造された場合は一切保証できかねます。

【保証書】

保証の対象は、この取説や Web ページなどに記載されている、機器の機能・性能（仕様）となります。外観、同梱品等については対象外となります。

機器は取付日から 1 年保証です。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書をお受け取りになるときは、取付年月日、取扱店名などの記載があることを確認してください。

この保証書は、本書に明示した期間、次の条件において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

<無償修理規定（1 版）>

1. 取扱説明書、機器ラベルの注意事項などに従った正常な使用状態で故障した場合

2. 無償修理期間内でも次の場合は原則として有償修理・交換となります。

- ・修理または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合
- ・取扱説明書に基づいた取付、取扱がなされていなかった場合
- ・一般の建物以外（車両、船舶、粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷
- ・本書の提示がない場合、取扱店名、取付年月日の記入がない場合、字句を書き替えられた場合
- ・表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の不具合
- ・盗難、紛失などの場合
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）、塩害、温泉地、異常電圧による故障及び損傷の場合

- ・使用上の不注意、過失による不具合及び、不当な修理や改造がされていた場合
- ・指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷
- ・砂やごみ及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合
- ・建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合
- ・ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
- ・日本国外で使用していた場合

3. 以下の場合に生じた費用及び代金は、保証の対象にはなりません。

- ・理由の如何を問わず、機器設置後に増加した電気料金
- ・機器を設置したことによって生じた使用場所や、その周辺の変色、変形、異音等の補修費用

【免責事項】

以下に挙げる例は、製造物の欠陥に該当しないものであり、製造物責任法（PL 法）の免責事項となります。

- ・壁、天井への取付が不十分なことによる事故
- ・離隔を守らないなど、取説記載の取付方法に反することによる事故
- ・スタンド設置で、人がぶつかった、強風、地震などで機器が転倒したことにより生じた事故

製品型番		HEAT-M-302S
取扱店名（施工店）		
	社名	
	連絡先電話番号	
	担当施工者	
取付日	年 月 日	